



「大宮小学校..これからも、ずっと..」

教 頭 保坂 泰司

本日、平成30年度第2学期を無事に終えることができました。今学期は、様々な行事があり、子どもたちはそれら一つ一つに懸命に取り組み結果をしっかりと残してきただけあって、大きく成長することができました。これも地域の方々の日々の見守り、家庭でのあたたかな家族のふれあい等、皆様のご協力があったることと感謝申し上げます。

さて、今年度、本校は創立145周年を迎えることができました。そんな中、先日、2年生が生活科の授業で地域の方々から昔の大宮についての話を聞かせてもらいました。その際、およそ100年前の大宮小周辺の略図をいただきました。その略図には、「町立大宮尋常高等小学校」と書かれており、現在の駅前通りには青桐の木や麦畑、そして現在プールがあるあたりに当時の校長先生の自宅や教師用のテニスコート等が描かれています。また、当時の児童数はなんと3000人と書かれています。現在の大宮小学校の様子とのあまりの違いに驚かされました。そのように考えていると、大宮小学校145年の歴史の重みは相当なものだと痛感します。開校してから、時代の流れに沿い、守るべきものは守り、変えるべきものは変えながら、現在の大宮小があるのです。そのように考えていると、ふと私が高校生だったころのことを思い出しました。その時の担任の先生は掃除に非常に厳しく、私もよく指導されました。その先生がいつも「ずっと一所懸命、掃除に取り組んで、ある一日だけいい加減に取り組んだ姿を他の人に見られたら、その人はいつもいい加減に掃除をしてるんだと思うものだ。だから、手を抜かずに続けることが大切だ。」とおっしゃっていました。その当時は、何とも思いませんでしたが、現在、地味であるけれども、当たり前のことの一つずつ行い、それを積み重ねることの大切さを実感しています。積み重ねるには時間がかかりますが、積み重ねたものを崩すのは一瞬でできます。その一瞬が、掃除でいうところのいい加減な取り組みなのでしょう。だからこそ、積み上げたものを崩すことなく大切にしなければなりません。

大宮小学校も、145年間、一日一日を地域、家庭と連携しながら、子どもの教育を積み重ねてきました。その結果、素晴らしい伝統を築くことができたと確信します。我々教師もこのことを肝に銘じて引き継ぎ伝統を守りつつよりよい教育を目指し取り組んで参ります。あおぎりっ子たちも、これからの大宮小学校を支える一員となるべく、日々、勉強や行事、その他の学校生活に積極的に取り組んでもらいたいと思います。

最後に、明日から冬休みに入ります。夏休み時にお知らせした「すくすくのびのび 子どもの生活向上キャンペーン」に家族で取り組んでいただき、規則正しい生活及び健康安全に注意しながら有意義な冬休みにしてください。

今年一年間大変お世話になりました。来年も引き続き子どもたちのよりよい成長のために本校の教育にご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。



【お知らせ】平成31年1月8日(火)の一斉下校時の下校時刻は、12:10となります。